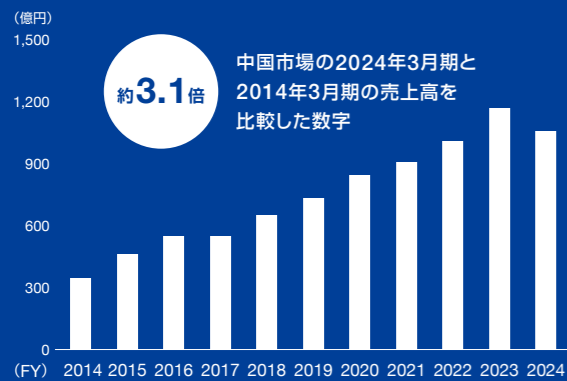


中国市場

高い成長ポテンシャルを有する中国市場

内視鏡医療のさらなる発展が見込まれる中国市場。当社の強み、市況、今後の成長ポテンシャルを解説します。

医療分野における中国の売上成長推移



約106,000人

過去5年間*1で当社のトレーニングコースに参加した医療従事者の人数 (うち、オンライン参加者約82,000人を含む)

約50年

当社が中国市場に進出して現地の医師との信頼関係を構築してきた年数

*1 2020年3月期～2024年3月期

中国市場の持続的な成長機会とトータルソリューションの提供

オリンパスは約50年前に中国市場へ参入してから、他社に先駆けて事業基盤を強化してきました。医師や病院・学会との積極的な連携によって、内視鏡医療の普及に努め、医療従事者との信頼関係を構築してまいりました。また、並行してサービス拠点におけるアフターサービスの体制やトレーニング支援の強化を図ることで、医師が安心して内視鏡検査・治療を行えるようサポートしてきました。

そのような強固な基盤のもと、当社の中国における事業は大きな成長を遂げており、今後も当社の中で戦略的に重要な市場と捉えています。現在、反腐敗運動などの課題に直面しているものの、中長期では持続的な成長を目指しています。特に、①臨床医の教育プログラムやトレーニングへの投資、②中国の医療従事者のアンメットニーズの探索、③現地での製造戦略、の3つの施策を柱として積極的な投資を継続し、事業の成長を図ります。

現在、当社は上海・北京・広州の3カ所の自社トレーニングセンターに加え、全国20を超える省*2のトップ病院との協業を通じて、中国全土にわたり内視鏡医の育成を支援しています。オンラインとオンサイト、そしてハイブリッド型のトレーニングプロ

ラムや、さまざまなオンラインコンテンツは医療従事者から高い評価を得ています。

加えて、全7拠点のサービスセンターにおいて、内視鏡製品の点検やメンテナンスに対応しており、業界トップクラスの体制を構築しています。今後も付加価値の高い差別化された製品の投入だけでなく、サービスやトレーニング活動を含めたトータルソリューションを提案していくことで、事業成長を実現してまいります。

*2 2024年9月現在

中国のサービスセンター・トレーニングセンター・製造拠点

● サービスセンター ● トレーニングセンター ● 製造拠点(準備中)



中国市場のPEST分析

- **「中国製造2025」を発表(2015年)**: 現状の組み立て中心の製造国家から、研究開発を含めた真の製造大国になることを目指すことが発表されました。2049年にグローバルのトップ製造国家の仲間入りをするのが目標です。ターゲット分野は10あり、その中の一つにバイオ技術、医療機器分野が含まれています。
- **「健康中国2030」を発表(2016年)**: 中国国民の健康を推進させ、健全な国家を建設する方針を打ち出し、重点項目の一つとして「がんを含む慢性疾患の早期診断・早期治療」や医療サービスの地域間格差の是正、医療機関の拡充などが掲げられています。またそれを支える医療産業の技術革新、発展を目指しています。
- **「県級病院総合能力レベルアップ計画」を発表(2019年)**: 500の県級病院と500の中医病院を、3級病院または3級中医病院と同等の医療水準に引き上げることを目指す方針が掲げられています。
- **「大規模設備の更新と消費財の新旧交換を推進するための行動計画」を発表(2024年)**: 工業、農業、建築、交通、教育、文化・旅行、医療の7分野に重点を置き、2027年までをターゲットとして設備と消費財を新旧更新し、ハイエンド化、スマート化(AIを活用)、グリーン化を目指す計画。医療設備では内需拡大と病院の構造改革に主眼を置き、地域間格差是正、医療の質の向上、効率化を狙い、ハイエンド大型医療機器、インベータティブな医療設備、AI関連商品のチャンスが高いといわれています。
- **購入量ベース調達制度(VBP: Volume Based Procurement)**: 高額消耗品の医療コスト削減を当初の目的として省、市などの地域ごとに開始された一種の集中購買の調達プログラム。
- **反腐敗運動**: すべての公立病院を対象とした反腐敗監査に関するキャンペーン。病院での入札活動の停止や遅延に伴い、主にキャピタル製品が影響を受けます。2023年7月から始まりましたが、不正が再発しないような流通の規範化や病院の購買プロセスを変えるなど、恒久的な取り組みにすることが2024年5月発表されています。

中国の潜在市場

3級病院 (約2,700施設) 3年で+約500施設*3
2級病院 (約8,600施設) 3年で+約700施設*3
1級病院 (約18,000施設) 3年で+約8,700施設*3

1病院あたりの病床数
3級病院: 500床以上
2級病院: 100~499床
1級病院: 20~99床

*3 2024年3月末時点と2021年3月末時点の施設数を比較した数字

(注) こちらでは中国政府による政策をご紹介しています

P Politics 政策

E Economy 経済

S Society 社会

T Technology 技術

- **中国医療市場の見通し**: 医療市場は2022年までのゼロコロナ政策や経済成長のスローダウン、反腐敗運動などの影響を受けましたが、安定的な経済成長をベースとした高齢人口やスクリーニングの増加などで、中長期的には成長していく市場と考えられています。
- **中層・地方病院への投資の拡大**: 中国では、約29,000の医療施設が3級、2級、1級等に分かれており、医療水準の高い3級病院に患者さんが集中する傾向があります。また地方の病院不足も顕著で、この医療格差を解消するためにも、中層・地方病院を中心にインフラへの投資が拡大すると見られています。
- **内視鏡検査・治療数の増加**: 近年、中国においては国民の健康意識の高まりから「早期診断」「低侵襲治療」への要望が大きくなっています。内視鏡医療はその2つの価値の提供に加え、医療コストの削減にも寄与するため、検査・治療件数は急速に増加しています。
- **内視鏡室の新設**: 中国政府による政策や内視鏡検査・治療数の増加に伴い、病院の新規設立や増設の際に内視鏡室の導入が積極的に行われており、内視鏡医療の発展につながっています。
- **内視鏡医の不足**: 人口10万人あたりの内視鏡医数は日本が28.2人に対して中国は3.4人*4と、依然として低い水準にあります。医療機関では、患者さんの増加に内視鏡医の数が追いついておらず、内視鏡医の育成が急務となっています。

- **消化器内視鏡**: 中国国内企業に対して優位性を維持しています。臨床ニーズに応えたNBI*5技術や拡大内視鏡によって、中国における内視鏡診断・治療の技術向上に貢献しています。また、拡大内視鏡やNBIに代表される当社の技術をベースとした診断方法が内視鏡医学におけるスタンダードとなりつつあり、当社の優位性を維持しています。
- **外科内視鏡**: CMOS技術の急速な発展により、中国国内企業の技術レベルの向上もあり、当市場での競争環境は激化しつつあります。
- **消化器科処置具**: 技術や付加価値よりも、価格面に重きが置かれるローエンド製品では競争環境が厳しくなっています。当社が注力するESD*6等の高度な手技に対応するハイエンド製品については当社の有利な市場ポジションは維持できていますがVBPのリスクや中国国内企業の動きを注視しています。

*4 出所: 一般公表データより当社にて算出
*5 Narrow Band Imaging: 狭帯域光観察
*6 Endoscopic Submucosal Dissection: 内視鏡的粘膜下層剥離術